

農林漁業のうごき

京都府 No.176 平成28年 はる号



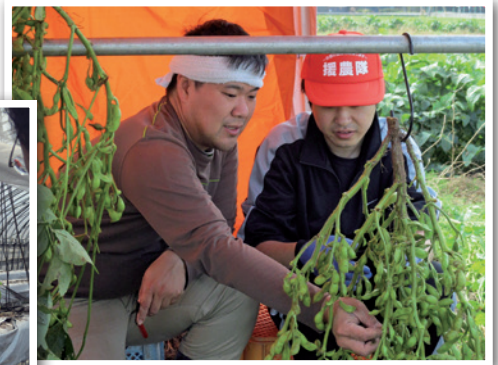
▲ すぐきの収穫作業

京都府の農業・農村を応援する「援農隊」が活躍しています!!

(6 ページに関連記事)



▼いちごの定植作業



▲ 農家から援農隊への作業指導

主な内容

特集 1	平成28年度農林水産関係当初予算の概要…………… 2~5 [お知らせ] 「平成28年春の農作業安全運動開始」「家畜を飼育している皆さんへ」…………… 5
特集 2	人づくり・組織づくり/ものづくり・販路づくり 「京の農業応援隊」活動はじまる!! / 京都府の農業・農村を応援する「援農隊」が活躍しています!! …… 6
特集 3	地域づくり・絆づくり 京都移住コンシェルジュ、東京相談が始まりました! …… 7
特集 4	安心・安全づくり 第3次京都府食育推進計画を策定! …… 8
特集 5	森林・緑環境づくり 「豊かな森を育てる府民税」で京都の森を育てます! …… 9 [お知らせ] 「鳥獣害対策に電気さくをお使いの方へ」
地域の取組	第7回命の里づくり交流会を開催! …… 10~11 豪雨災害の復旧対策工事すむ 京都丹波を豆でナンバーワンの地域にする「豆ONE」の実施 府内初・茶成分分析機を整備した茶集出荷施設が竣工
シリーズ	第5回 第40回全国育樹祭(平成28年秋)に向けて…………… 12



森の京都「天上の木」写真大募集

あなたにとって、勇気や癒し、感動を
与えてくれる木を募集します!

詳しくは

天上の木

検索

6/15(水)
まで

特集

1 平成28年度 農林水産関係当初予算の概要

(平成27年度2月補正予算を含む)

京都府では、平成28年度を「京都府地域創生戦略」スタートの年として、将来を見通した4つの京都づくりを掲げ、少子高齢化対策や京都産業のイノベーションに取り組む「京都創生」予算として14箇月予算を編成し、一般会計で9,756億5,900万円（うち平成28年度当初予算9,639億4,500万円）を計上しました。

農林水産業においても、マーケット・ニーズに応える付加価値の高い産業、儲かる農林水産業へのステップアップや林業分野での消費ニーズに応えられるC L T製造加工施設の事業化に踏み出すなど改革を進めていくとともに、それらを支える人材の育成対策強化等の取組を進めることとし、一般会計で約240億円（うち平成28年度当初予算約229億円）の農林水産関係予算を計上しました。

グローバル化・人口減少社会に向けた京都府農林水産業

1 京の農林水産業イノベーション事業

グローバル化、人口減少等農林水産業を取り巻く環境が変化する中で、海外展開、事業拡大や生産性の向上等を推進し、未来を見据えた強い農林水産業を実現する総合的な施策を展開

1 儲かる農林水産業総合戦略

大規模な農業経営で地域をリードする農業者や中小規模の経営であっても付加価値の高い農産物を生産する農業者などの産業を支える担い手を「生産・流通」、「販売」、「人材育成」の3つの戦略で総合的に支援

(1) 生産・流通戦略

外食産業等企業ニーズと生産者を直接結びつけ、マーケットイン（需要対応型生産）による儲かる農業を実現

■ 農地集積規模拡大支援事業……………【新規 2億7,862万円】

地域の核となり、地元調整や貸出農地の掘り起こしを担う「集積仕掛人」の全市町村への配置等により、経営の規模拡大と競争力強化を図る

■ 京力農場づくり事業……………【継続 1億2,500万円】

集落営農組織の法人化、経営多角化や6次産業化等の取組を支援し、力強い農業経営構造への転換を促進

■ 京都農業経営強化事業……………【新規 2億860万円】

外食産業等の企業ニーズと生産者を直接結びつけ、マーケットイン（需要対応型生産）による儲かる農業を実現

■ 3万農家総元気づくり事業……………【新規 2,260万円】

農家のタイプに応じ、「京の農業応援隊」〈p.6参照〉や外部人材を活用し、伴走支援を強化

■ 京都6次産業プロジェクト戦略事業……………【継続 4,990万円】

産地と食品関連企業が連携した新商品開発や「学ぶ・食べる・買う」の機能を持つ「京野菜ランド」の販売力強化等6次産業化の取組を支援

■畜産・酪農収益力強化事業.....【新規 2,931万円】

府内産牛肉の高品質化及び飼料コストの縮減を図ることで畜産・酪農経営の収益力を強化

(2) 販売戦略

「おいしい京都」を府内、首都圏、海外へとアピールし、府内産農林水産物の需要と消費を拡大

■「おいしい京都」総合戦略事業.....【新規 5,230万円】

- ・府内において、食のイベントの開催や次代を担うブランド品目育成などきめ細やかな消費拡大策を実施
- ・メディア等の発信力が高い首都圏における需要拡大策を実施
- ・京都の食材や産地への関心を高め、インバウンドと輸出の拡大につながる好循環を確立し、農村地域の所得を増大

(3) 人材育成戦略

攻めの農業への転換（体質強化）を図るため、高度な経営感覚を持つ農企業者を育成

■京都農人材育成総合対策事業.....【新規 5億3,759万円】

行政や農業団体等によるオール京都体制で「京都農人材育成センター」を設置し、京の農業応援隊が伴走支援しながら、技術研修などと発展段階に応じた経営研修を一体的に実施

■京都次世代育成学舎事業.....【継続 9,696万円】

府内の高等教育機関や試験研究機関等が一体となって農林水産業を支える次代の担い手を育成

■農林女子の活躍支援事業.....【新規 1,500万円】

農林業に従事する女性（農林女子）を農林業の重要な担い手として育成するため、農林女子の職場環境を整備するとともに、女性向けの軽量農機具や作業服などの商品を開発

② 林業「森世紀」創造戦略

森林資源が伐期を迎える好機を捉え、府内産材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築を目指した川下～川上の総合対策を実施

【川下（利用）対策】

■府内産木材需要拡大事業.....【新規 2億6,492万円】

府内産木材の率先利用を進め、公共施設や住宅等における需要を拡大するとともに、府民に対し木材利用や木の文化を発信

【川中（製造・加工）対策】

■府内完結型木材産業構築事業.....【新規 6億3,835万円】

府内完結型の木材産業体制の構築のため、大型加工施設立地の支援や木材加工流通施設整備、原木ストック体制の整備を推進

【川上（生産）対策】

■木材生産パイオニア事業.....【新規 5億1,882万円】

丹波広域基幹林道の沿線エリアを中心に木材を集中搬出

『豊かな森を育てる府民税』を活用した事業（一部再掲）〈p.9参照〉

【川下対策：資源循環利用と木の文化発信.....1億3,900万円】

- 府民利用施設等木質化事業
- 公募型木のまちづくり推進事業

- 京の森と木魅力発信事業
- 木材6次産業化事業
- 環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業（拡充分）

【川上対策：森林の整備・保全】……………1億6,800万円】

- 未来へつなぐ安心・安全の森づくり事業
- 府民参加型里山ふれあい事業
- 健やかな森林づくり事業
- 伝統工芸の森プロジェクト事業

【豊かな森を育てる府民税市町村交付金】……………3億700万円】

2 きょう住（ずまい）促進事業

日本全体で人口減少が進む中、定住人口のみならず多様な地域資源を活用した交流人口の増加により、地域の活力の維持向上を図るため、京都へのU・I・Jターンを促進

■京都移住促進事業〈p.7 参照〉……………【新規 1億1,627万円】

「京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例」の制定を契機に、農山漁村地域等の新たな担い手となる移住者を確保し、地域再生を加速化

■耕作放棄地再生推進事業〈p.7 参照〉……………【新規 1,630万円】

「京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例」の制定を契機に、移住者等の営農活動や再生作業等の支援及び京都モデルファーム運動の推進により、耕作放棄地の再生・活用を促進

■「命の里」農山漁村里力再生事業〈p.10 参照〉……………【新規 1億2,250万円】

過疎化・高齢化が進む農山漁村において、集落が連携した「里力」の再生活動を人材面や経費面を含め、総合的に支援

3 農林漁業・農山漁村を支える「安心・安全」

森林整備を含む総合的な治山整備や有害鳥獣対策など、府民協働による安心・安全な農林漁業、農山漁村づくりを推進

(1) 防災・減災対策

■保安林等適正整備事業（一部再掲）……………【継続 4億7,400万円】

災害発生が危惧される集落に関わりの深い保安林等において、安心・安全な地域づくりのため、間伐等の森林整備や流木対策及び治山施設の整備等を実施

(2) 野生鳥獣被害対策

■有害鳥獣被害半減総合対策事業……………【新規 4億9,440万円】

メスジカの捕獲強化やサルが悪質個体の捕獲強化、捕獲の担い手育成、地域ぐるみの防除対策等を実施

(3) 農林水産業の基盤整備

■農林水産業基盤整備事業（一部再掲）

（農林水産部関係予算以外を含む）……………【継続 82億4,509万円】

ブランド京野菜等の生産振興により、京都の農林水産業を未来につなげるため、生産基盤や農山漁村地域の整備を実施

■農林水産部関係災害復旧事業……………【継続 1億6,913万円】

耕地や林道の災害復旧事業を実施

4 「もうひとつの京都」事業

平成28年度を「森の京都YEAR」として、中核イベントである全国育樹祭など、府中部地域を中心に年間を通じて、森の魅力を体感し、森の文化の理解を深める交流型イベント等を実施。

府南部地域では、宇治茶生産の長い歴史に育まれた美しい茶畑景観や地域に根ざすお茶の文化を維持・継承するとともに、平成29年度のターゲットイヤーに向けた拠点整備を推進。

さらに、海のめぐみと観光を結びつける府北部地域を「ブランド観光地域」とするため、地域の総力を結集して観光地域づくりを推進

(1) 森の京都関連（森の京都重点アピール）

■全国育樹祭開催事業〈p.12 参照〉……………【新規 3億2,900万円】
「森の京都博」の中核イベントとして、「第40回全国育樹祭」を開催し、次世代へつなげる京都の森の文化を府内外へ発信

■京都モデルフォレスト運動10周年記念事業……………【新規 200万円】
全国育樹祭と連携し、モデルフォレスト運動10周年記念として、次代を担う子どもたちをはじめ、府民の森づくり活動への参加を促進

(2) お茶の京都関連（ターゲットイヤーに向けたお茶文化の魅力発信）

■宇治茶ブランド力強化事業……………【新規 200万円】
「プレミアム宇治茶認証制度」を創設するとともに消費者にお茶の味をわかりやすく伝える「お茶の味表現チャート」を作成し、宇治茶の消費拡大を図る

■宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業……………【継続 3,600万円】
宇治茶の世界文化遺産登録に向けて、宇治茶生産の景観形成及び府民運動の拡大を推進

■茶業研究所機能強化事業……………【継続 4億9,000万円】
企業・大学等との連携・交流や研究所の機能強化を図るため、商品開発や宇治茶の魅力発信などリニューアルを実施

(3) 海の京都（ブランドのPR）

■丹後10次産業化拠点づくり事業（一部再掲）……………【継続 4,300万円】
丹後王国「食のみやこ」において、食人材の育成、観光拠点としての魅力アップ及び地元産品を使った農業ビジネスを推進し、「農」と「観光」のクロスオーバー産業を育成

■京都水産物高品質化事業（再掲）……………【継続 220万円】
岩がきの生産効率の改善や出荷規格の厳格化による高付加価値化を図る

農政課 経理担当 TEL : 075-414-4948

農 作 業 安 全


～平成28年春の農作業安全運動開始～

「慣れた作業、慣れた心に、潜む事故」

安全確認を徹底しよう！！


運動期間：4月1日～6月30日

春の農繁期、田植機やトラクター等の操作には十分注意して、農作業事故を防ぎましょう。



家畜を飼育している皆さんへ

家畜飼養に係る衛生管理の状況等について定期報告が法律で義務化されています



報 告 期 限

毎年**4月15日** 毎年**6月15日**
（牛、馬、めん山羊、豚など） （鶏、あひる、だちょうなど）

お問合せは、最寄りの家畜保健衛生所へ

特集

2 人づくり・組織づくり/ものづくり・販路づくり

「京の農業応援隊」 活動始まる!!

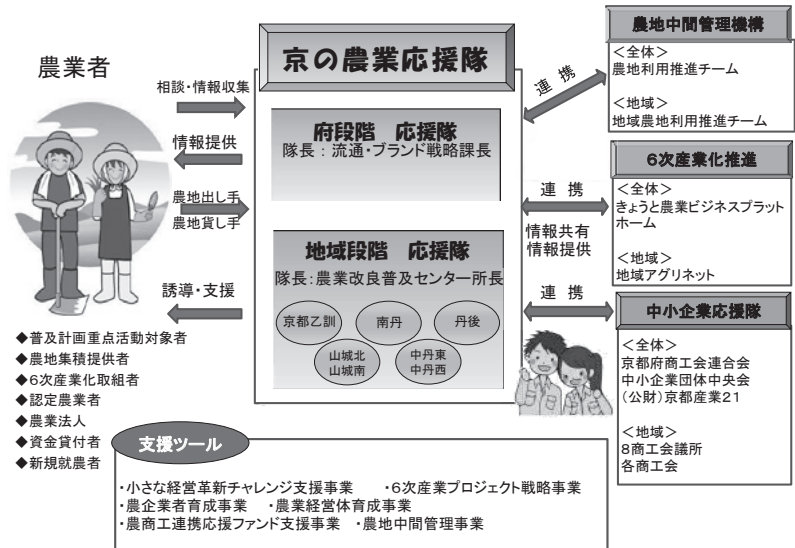
■「京の農業応援隊」の目的

農業技術の向上に加え、農地集積による規模拡大、経営の改善や多角化など幅広い観点からの支援により、京都府農家の成長を目指します。

■取組内容

府段階と地域段階（5ブロック）において、商工関係団体の経営支援員や農業関係団体職員、京都府職員などによる「京の農業応援隊」を結成しました。

各地域段階の応援隊が、①新技術の導入や販路開拓等 ②農地集積等による農地確保や規模拡大 ③6次産業化・農商工連携等による経営の多角化などの支援に取り組んでいます。



■「京の農業応援隊」については、各農業改良普及センターまでお問い合わせください。

京都乙訓 075-315-2906 山城北 0774-62-8686 山城南 0774-72-0237
南丹 0771-62-0665 中丹東 0773-42-2255 中丹西 0773-22-4901
丹後 0772-62-4308 流通・ブランド戦略課 075-414-4964

京都府の農業・農村を応援する「援農隊」が活躍しています!!

■「援農隊」の目的

京都府では、高齢化や過疎化の影響により繁忙期に必要な人材の確保が困難となる農村地域に対して、NPO法人と連携し、「農業に興味がある」「農業者の力になりたい」という方を「援農隊」として募り、農業者とマッチングさせる取組を平成27年9月から行っています。

黒大豆枝豆の収穫調整作業を行う援農隊のみなさん（平成27年11月）



■参加者（援農隊）の声

「農業青年の皆さんは知識が豊富で、作物や栽培方法など、質問に丁寧に答えてくれたので、楽しく作業できた」

■農家の方の声

「単調な作業にもかかわらず、常に集中し対応いただいたおかげで通常より進捗率を大幅に上げることができた」

援農隊にご興味ある方は、下記までお問い合わせください。

流通・ブランド戦略課 農業流通・販売戦略担当 TEL：075-414-4964

特集

3 地域づくり・絆づくり

京都移住コンシェルジュ、東京相談が始まりました!

京都府内の農山漁村地域への移住を促進するため、移住相談から現地案内、地域定着までの伴走支援を行う「京都移住コンシェルジュ」が活動を開始して1年半となりました。

大阪の移住相談窓口や京都を中心としたこれまでの取組に加え、平成28年1月からは、新たに東京（京都府東京事務所）に京都移住コンシェルジュ2名を配置し、移住相談に対応するほか、土日には「ふるさと暮らし情報センター・東京」等において、地域情報等を紹介するイベントを開催しています。

■京都移住コンシェルジュ（東京）

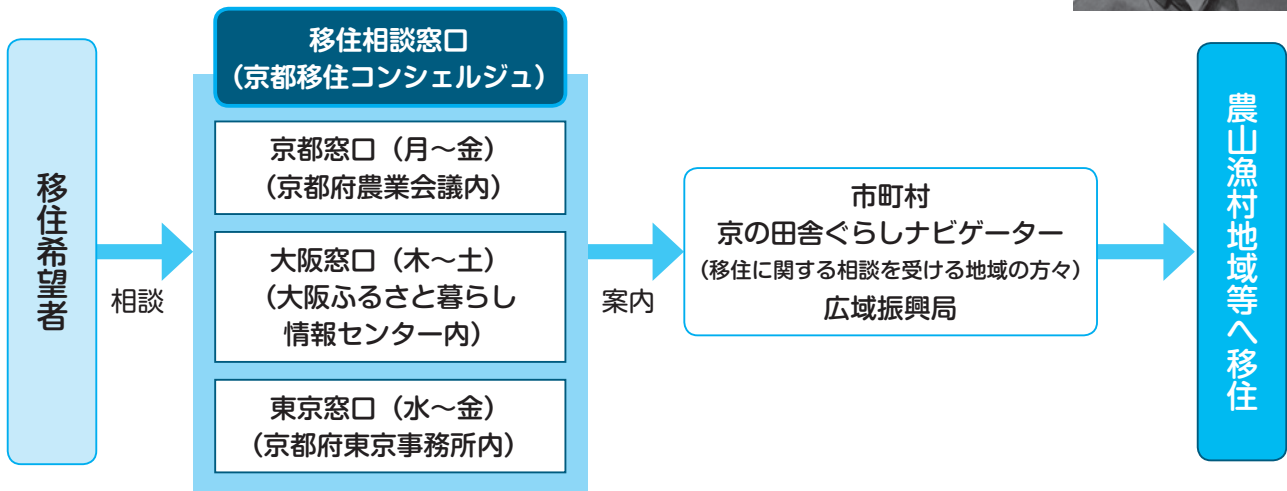
安田 真帆（やすだ まほ）

就職を機に京都を離れましたが、東京生活が長くなるにつれ、生まれ育った京都への想いが大きくなっていきました。海、山、川と豊かな自然に囲まれ、それぞれの地域の文化を感じながら生活する「京都暮らし」を、東京で伝えていきます。



坂田 真慶（さかた まさよし）

田舎暮らしの経験者として、京都の魅力（居・職・住）を、京都にゆかりのある方々と共有し、東京での「京都コミュニティ」を作っていければと考えています。また、移住相談やセミナー等を通じて移住希望者の思いに寄り添っていきたいと思います。



農山漁村地域等の新たな担い手となる移住者を確保し、地域再生を加速化!

（「京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例」（移住促進条例）をH28.4.1施行）

市町村長からの申出により、空家及び農地を活用することで移住の促進及び地域の活性化を図るための特別な対策を講じる地域（移住促進特別区域）を指定します。移住促進特別区域においては、税の軽減、補助金の交付、金利負担の軽減等の支援措置を実施することにより、市町村等と連携しながら、移住者の受入れに意欲的に取り組む地域を応援します。

特集

4 安心・安全づくり

第3次京都府食育推進計画を策定！ ～「食選力」「調理力」の向上を目指して～

京都府では、食育基本法に基づき、新たに第3次計画（平成28～32年度）を策定しました。

府民の皆様が毎日の食を正しく選ぶことができる「食選力」と、それをしっかり食べるための「調理力」を食に関わる全ての方々とともに向上させ、生涯にわたって心身を健康に保てる環境を目指します。そのため、個々人が食に対する関心を高め自発的に行動する「食育宣言（仮称）」を広く呼びかけながら、次の5つの施策を進めます。

< 1 世代に応じた食育の推進 >

未来を担う子どもや若い世代を中心にしつつ、全ての世代において食育施策を展開

< 2 健康増進につながる食育の推進 >

健康増進に関連した食に関する正しい知識の普及活動の強化や施策を展開

< 3 家庭における食育の推進 >

朝ご飯を毎日食べる運動に加え、地産地消や食の環境を意識した家庭における食育施策を展開するほか、食品ロスの削減に向け府民会議を設立し、府民運動として取り組む

< 4 ライフスタイルの多様化に対応する食育の推進 >

単身世帯・孤食の増加、外食・中食の普及など、ライフスタイルの多様化に対応する食育施策を展開

< 5 京都ならではの食育の推進 >

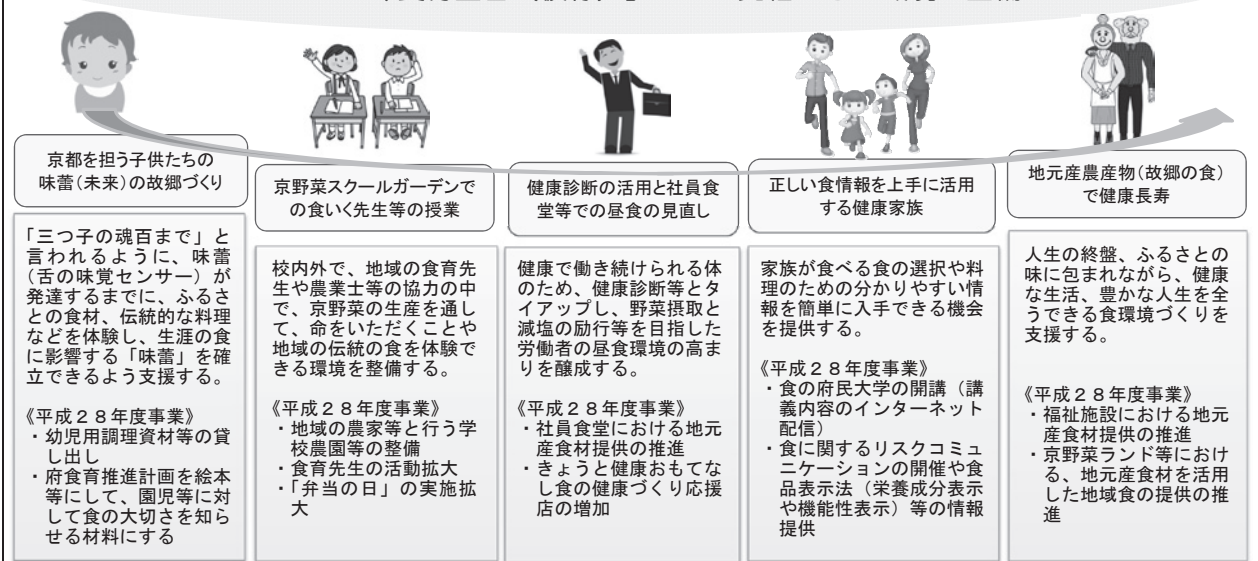
ユネスコ無形文化遺産に登録された和食に代表される京都の食文化の継承対策を強化しつつ、京都が誇る食の人材を「食いく先生」として活用した食育施策を展開



「食いく先生」による和菓子づくり体験授業

施策展開イメージ

だれもが、自らの食を見つめ直し、健康な日々のために自ら行うことを「食育宣言（仮称）」として発信できる環境を整備



京都府ホームページ「きょうと食育情報」（<http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/>）の中で、食育推進計画の詳しい内容を御覧いただけます。

特集

5 森林・緑環境づくり

「豊かな森を育てる府民税」で京都の森を育てます!

平成28年度から京都の森を守り、育てるための「豊かな森を育てる府民税」がスタートします。この「豊かな森を育てる府民税」では、お一人年600円のご負担をいただき、様々な取組を進めます。

——「豊かな森を育てる府民税」を活用した主な事業——

【森林の整備・保全のための取組】

- 未来へつなぐ安心・安全の森づくり事業
台風など大雨の際、流木となるおそれのある危険木の撤去などを行い災害の発生を防止します。
- 府民参加型里山ふれあい事業
天然林や竹林で伐採などを行い、里山での活動を進めるための基盤整備を行います。



手入れのいきとどいた森林

【府内産木材の利用促進・森林についての理解を深めるための取組】

- 公募型木のまちづくり推進事業
商業施設や福祉施設で、府内産木材をふんだんに利用するモデル施設を選定し、その木造化などを支援します。
- 府民利用施設等木質化事業
多くの府民が利用する公共施設等の内装の木質化や木製品の配置などを実施します。
- 京の森と木魅力発信事業
森の魅力を発信するため、府内の巨樹・巨木、銘木、豊かな森などを紹介するマップの作成などを行います。



府内産木材を利用した公共施設

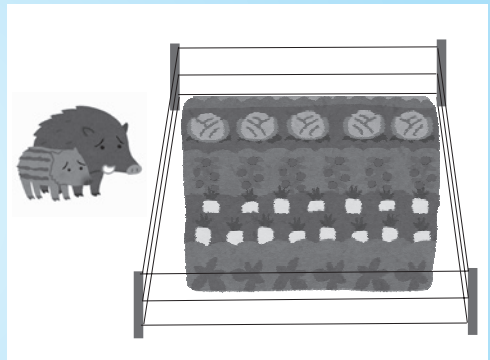
林務課 企画・計画担当 TEL：075-414-5016

お知らせ

鳥獣害対策に電気さくをお使いの方へ

電気さくはシカやイノシシから農作物を守るために有効な手段です。設置に当たっては、PSEマークがついた電源装置、漏電時に電気を遮断する装置、人に見えやすい位置に危険標識を設置するなど安全対策上のルールを守ることが何よりも大切です。

皆さんが設置された電気さくが正しく設置され、効果がきちんと発揮できる状態かしっかり確認し、安全管理に努めてください。



経済産業省のホームページでパンフレットをご覧ください。

森林保全課 野生鳥獣担当 TEL：075-414-5022

地域の取組

丹後

第7回命の里づくり交流会を開催！

～豊かな農村を目指して 地域を巻き込んだ農村ビジネスの展開～

「共に育む命の里」事業に取り組む地域連携組織等の関係者約130人が一堂に会し、京丹後市のアグリセンター大宮において「命の里づくり交流会」を開催しました。



地域特産品の販売状況
(平成27年12月2日)

「農村は宝の山」をテーマに、三重県多気町で農村レストラン「まめや」を運営されている「(有)せいわの里」の北川代表の基調講演や、各地域の特産品の販売等を通じて参加者間の交流を深めました。

参加者からは「講演の内容が非常に良かった、是非視察に伺いたい」という感想が多数あり、既に管内から4組織が視察へ行かれるなど、交流会の開催をきっかけとした活動につながっています。

丹後広域振興局 農林商工部 地域づくり推進室 地域活性化担当 TEL：0772-62-4316

中丹

豪雨災害の復旧対策工事すすむ

平成26年8月及び9月に福知山市及び綾部市に降った雨は局地的かつ猛烈なもので、福知山市岩間、市寺などや綾部市安国寺町などの区域で多くの山崩れや土石流が発生する大災害となりました。



災害発生当時（平成26年8月）



福知山市市寺（平成28年1月）
(平成26年度災害関連緊急治山事業で実施)

中丹広域振興局では、被害の大きい箇所、再び被害の出るおそれの高い箇所から順次、山崩れの復旧や、治山ダムの設置に取り組み、既に14箇所が完成しています。引き続き計画的に治山事業を実施し、安心安全な府民生活の確保と災害に強い地域づくりに取り組んでいきます。

中丹広域振興局 農林商工部 森づくり推進室 森林土木担当 TEL：0773-62-4621

京都丹波を豆でナンバーワンの地域にする「豆ONE」の実施 ～認知度アップと消費拡大をめざして～

京都丹波地域は、「黒大豆・大納言小豆・白大豆・紫ずきん・京夏ずきん・京白丹波」と、良質で特長ある豆の主産地となっています。その魅力を多くの人に知ってもらおう試みの一つとして、京丹波町の小中学生に地場産豆を使った給食献立を提供し、その献立にふさわしい賞を選んでもらう「豆ONEグランプリ2015」を実施しました。



『「京都丹波」豆ONEの会』設立総会にて
(平成27年12月7日)



豆ONEグランプリ2015で提供された
まめ献立のレシピブック
(平成28年2月作成)

その他、豆の地産地消の推進を目的に活動する『「京都丹波」豆ONEの会』を設立し、PRや加工品開発について検討するなど、地域の方と協力して様々な取組を実施しています。

南丹広域振興局 農林商工部 企画調整室 農畜産振興担当 TEL：0771-22-0371

府内初・茶成分分析機を整備した茶集出荷施設が竣工

京都やましろ農業協同組合が、宇治茶の最大産地である和束町に茶集出荷施設を整備しました。



府内初となる最新鋭の茶成分分析機を整備した施設です。高品質な宇治茶生産をバックアップするとともに、輸出に対応した宇治茶生産を進め、北米やEU等への輸出の拡大を目指します。

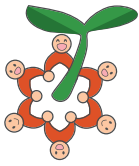
総事業費157,370千円
(国庫補助金72,420千円、府補助金5,793千円)
鉄骨スレート1,062㎡
年間取扱量780トン(府全体の29%)

茶集出荷施設竣工式でのテープカット
(平成28年1月21日)

山城広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL：0774-21-2392

シリーズ 第5回

第40回全国育樹祭(平成28年秋)に向けて



第40回

育樹の輪 ひろげる森と 木の文化

全国育樹祭

開催日が決定しました！

森を守り育て、次の世代へとつなげる
ことの大切さを普及啓発するため、皇族
殿下による「お手入れ行事」、森の京都
の歴史と文化に彩られた「式典行事」と
併催行事を開催します。

5月頃に式典参加者を募集します。

全国緑のこどもサミット

10月8日(土)

綾部市 京都府中丹文化会館

全国から次代の森林づくりの主
人公「緑の少年団」が集います

森林・林業・環境機械展示実演会

10月9日(日)・10日(月)

福知山市

長田野工業団地アネックス京都三和

森で働く機械100台以上が大集合！

国際森林シンポジウム

10月8日(土)

亀岡市 ガレリアかめおか

海外からゲストを迎え、森林文化の
素晴らしさを考えるシンポジウム

式典行事

10月9日(日)

南丹市 府民の森ひよし

緑化功労者等の表彰や森の京都の
歴史と文化のアトラクション等

森の京都エクスカーション

10月10日(月)

京都市、京丹波町
(丹波広域基幹林道)

丹波広域基幹林道をフィールドに
した、自然体験型ウォーキング

お手入れ行事

10月8日(土)

宇治市 山城総合運動公園

平成3年の全国植樹祭にお
いて、天皇皇后両陛下がお
手植えされた北山杉としだ
れ桜を皇族殿下が手入れ
されます



モデルフォレスト・全国育樹祭推進課 TEL: 075-414-5012

広告

第40回全国育樹祭を応援しています

健康な森林づくり
自然にやさしいものづくり

JForest 京都府森林組合連合会



府内産木製品の
ご相談お待ちしております

<http://kyoto-shinrin.jp/>

▶ 広告について 京都府においては、府民の皆様からお預かりしている大切な府有資産等（ホームページ、印刷物、施設等）を有効活用して得られた収入を、府の政策実現に活用し、府民満足の向上を図るため、平成19年12月から広告事業に取り組んでいます。本冊子についてもホームページを通じた公募を行い、応募いただいた民間企業等の広告を本冊子に掲載しております。

発行/平成28年3月

編集/〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課 TEL: 075-414-4946 E-mail: nosei@pref.kyoto.lg.jp

世界人権宣言65周年キャンペーン「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした人権啓発イメージソング
「世界がひとつの家族のように」ができました。「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか
公式ホームページ <http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>